※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることに留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、素材や用具の特性や使用方法等を学びながら表現方法の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行うことで、自分の世界に広がりや深まりが生まれることを期待します。

２　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気づきをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成度を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め主題に沿った表現が行えているか、また意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表しているかを評価します。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想して構想を練ったり、表現できているか、また他者の作品の良さを理解し自分の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら、美術の幅広い創造活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	デザイン　～色と形で伝える～	【デザイン】【鑑賞】 １．鑑賞 幅広いデザインの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。 ２．主題の設定 デザインで表現する季節のイメージや主題を、アイデアスケッチをもとに考える。 ３．構想を練る 主題から発想を広げ、構図や配色など造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 ４．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫して創造的に表す。 ５．鑑賞 互いの作品を振り返りｼｰﾄをもとに発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識・技能） 形や色彩、素材の性質等、造形の要素の働きを理解するとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。 b:（思考・判断・表現） 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成するとともに、デザインの機能や効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 主体的にデザイン表現の創造的活動に取り組んでいる。 鑑賞や振り返りｼｰﾄで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組んでいる。	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ 相互評価ｼｰﾄ	ワークシート 授業観察 取り組み状況 振り返りｼｰﾄ
２学期	鉛筆デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 １．主題の設定 モチーフを観察し、鉛筆デッサン作品の主題を整理する。 ２．構想を練る 構図や遠近感など造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 ３．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫して創造的に表す。 ４．鑑賞 互いの作品を振り返りｼｰﾄをもとに発表しあい、表現の工夫などについて理解を深める。	a:（知識・技能） 絵画における造形要素の働きを理解するとともに、素材の特性を生かし意図に応じて表現方法を創意工夫している b:（思考・判断・表現） デッサンの表現形式の特性を生かし、立体感や質感、空間などについて考え、創造的に表現している。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 主体的に絵画表現の創造活動に取り組んでいる。 鑑賞や振り返りｼｰﾄで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組んでいる。	ワークシート 作品 振り返りｼｰﾄ	ワークシート 作品 振り返りｼｰﾄ	ワークシート 授業観察 取り組み状況 振り返りｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

	空想画	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 １．鑑賞 ｼｭﾙﾚｱﾘｽﾑやﾄﾘｯｸｱｰﾄなどの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。 ２．主題の設定 空想画のイメージや主題を、アイデアスケッチをもとに考える。 ３．構想を練る 主題から発想を広げ、構図や配色など造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 ４．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫して創造的に表す。 ５．鑑賞 互いの作品を振り返りｼｰﾄをもとに発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識・技能） 空想画の要素を理解するとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:（思考・判断・表現） 自然や自己、生活などを見つめ、夢や想像などから主題を生成している。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 主体的に空想画の創造活動に取り組むとともに、鑑賞や振り返りｼｰﾄで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組んでいる。	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ 相互評価ｼｰﾄ	ワークシート 授業観察 取り組み状況 振り返りｼｰﾄ
３学期	石膏彫刻	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 １．鑑賞 彫刻立体作品を鑑賞し、表現の意図や工夫を感じ取る。 ２．主題の設定 抽象彫刻のイメージや主題を、アイデアスケッチをもとに考える。 ３．構想を練る 主題から発想を広げ、造形的な視点を大切にしながら構想を練る。 ４．制作 発想や構想に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫して創造的に表す。 ５．鑑賞 互いの作品を振り返りｼｰﾄをもとに発表しあい、作者の心情や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識・技能） 立体造形の要素を理解するとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:（思考・判断・表現） 彫刻の表現形式の特性を生かし、造形的な見方や考え方を働かせて、創造的に表現している。 c:（主体的に学習に取り組む態度） 主体的に石膏彫刻の創造活動に取り組むとともに、鑑賞や振り返りｼｰﾄで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組んでいる。	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ	ワークシート ｱｲﾃﾞｱｽｹｯﾁ 作品 振り返りｼｰﾄ 相互評価ｼｰﾄ	ワークシート 授業観察 取り組み状況 振り返りｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度